

議会 だより



令和7年4月21日
いいだ市議会だより

IIDACITY-gikaidayori

No.241

編集/広報広聴委員会 発行/飯田市議会 〒395-8501 長野県飯田市大久保町2534



みんなで支える豊かな川路の実現!

～ みんなで担う川路 みんなで創る住みよい川路 魅力あふれる川路 ～



第1回定例会 2P
委員会 3～7P
ズバリ市政を問う(代表・一般質問) ... 8～11P

令和7年

第1回 定例会

2月27日
～
3月21日
開催

定例会のあらまし

第1回定例会開会日に、執行機関側から「教育長の選任について」など人事案件8件、「刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について」など条例案件20件、「天龍村との間において締結した定住自立圏形成協定の一部を変更する協定を締結することについて」など一般案件14件、「令和6年度飯田市一般会計補正予算（第7号）案」ほか予算案件19件の議案の上程がありました。

人事案件8件及び定住自立圏形成協定に関する一般案件2件については、開会日に同意及び議決しました。

中日（3月5日）には、「飯田市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について」の条例案件1件の上程があり、開会日即決案件以外の議案とともに所管の委員会に付託され、議案審査を行いました。これらの議案は最終日の本会議において、いずれも原案のとおり可決しました。

最終日には委員会提出議案として「飯田市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について」など4件の議会議案を提出し、いずれも原案のとおり可決しました。

また、各常任委員会から所管事務調査に関

する報告がありました。

議案に対する質疑と審査

開会日即決案件以外の議案は、所管の委員会に付託され、集中的に審査しました。

委員会での質疑等の内容は、次ページからの常任委員会のページで、その一部を紹介し

議会発議による議案について

【発委第1号】飯田市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について

全国市議会議長会において、これまで書面・対面に限定されていた手続の一部をオンライン化の対象とすること、及び承認制であった手続を許可制にすること等の見直しが行われたことに伴い、本市議会においても、見直したものです。

【発委第2号】飯田市議会個人情報保護に関する条例の一部を改正する条例の制定について

刑法の改正、マイナンバー法の改正、全国市議会議長会が作成する標準条例の文言の見直しがされたこと、この3点の理由による条例改正です。

【発委第3号】飯田市議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定について

全国的な議員のなり手不足を解消するため、令和5年に地方自治法が改正され、これまで議員が一律に制限されていた市の業務

の請負について、一定の金額まで緩和されることとなりました。

市民に対し、議会運営の公正性及び透明性を確保するため議員と市との請負状況を公表する制度を設けようとするものです。

【発委第4号】令和7年度飯田市病院事業会計予算（案）に対する附帯決議について

予算決算委員会社会文教分科会審査において、病院の経営健全化に向けた取組の説明や、予算案に対する質疑から、議員間自由討議を行い附帯決議案として集約され、予算決算委員会から提出したもので、病院事業会計の経営健全化に向け、決議したものです。

附帯決議の内容は、経営健全化へ危機感を持って取り組むこと、長期的視点での病院経営を考慮すること、現状を市民へ情報提供することです。

定例会の審議結果や本会議の様子は、飯田市議会ホームページ、YouTube「飯田市議会（中継）」でご覧いただけます。

飯田市議会ホームページアドレス
<https://www.city.iida.lg.jp/site/assembly/>



HP QRコード



開会日QRコード



閉会日QRコード

総務委員会

3月10日に
委員会等を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください。

今定例会に総務委員会へ付託となった議案（条例案件の10件）について慎重に審査を行い、いずれも原案のとおり可決しました。審査での主な質疑の内容を紹介しました。

議案第12号 資金積立基金条例の一部を改正する条例の制定について

【内容】地域の脱炭素化の推進を図るための資金積立基金として新たに「脱炭素推進基金」を設けるため、条例の一部を改正しようとするもの。

Q 脱炭素推進基金の活用の考え方は。

A 公共施設の屋根を活用して太陽光発電を行う「市民共同発電事業」を地元の発電事業とパートナーシップ契約を締結し展開してきたが、令和8年度末に契約期間が満了となる。既に設置している太陽光発電設備は、存置することで発電した電力の使用と余剰電力の売電がこれまでどおり行える。脱炭素に向けた社会情勢は目まぐるしく変化しており、単年度の歳入歳出にとらわれない基金を造成し、柔軟に対応していくことが必要と判断して新たな基金を創設する。環境分野に幅広く活用していく。

《予算決算委員会 総務分科会》

予算案件のうち、総務分科会に分担となった案件は4件です。いずれの議案も閉会日に原案のとおり可決することに決定しました。

議案第43号 令和6年度飯田市一般会計補正予算（第7号）案

Q 葬儀を行う家族や親類などがいない場合の市による火葬が、今年度は特に多く予算に不足が生じたとのことだが、どの程度多かったか。

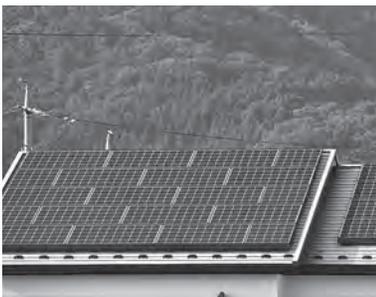
A 令和3年度からこのような状況がみられ、令和5年度までは年間で1件だったが、令和6年度は現時点で8件となっている。

議案第49号 令和7年度飯田市一般会計予算（案）

■自治活動の拠点整備事業について

Q 集会施設整備事業に関して、太陽光発電設備設置工事を特例として加えるところがあるが、特例とは。

A 通常の集会施設整備に加え、既存の集会施設に太陽光発電設備を設置する場合は、その分を上乗せして補助するものがある。



太陽光パネル

■3R（リデュース・リユース・リサイクル）推進事業について

Q 生ごみ処理機器導入補助の成果や効果は。

A 令和6年度は2月末時点で344件の申請があった。5年度は年間で211件であり、かなり増加している。燃やすごみの削減状況は、稲葉クリーンセンターの暫定値となるが、家庭からの収集ごみに限った数値では、4月から12月までの飯田分は前年度比98.67%であり効果があったと言える。

所管事務調査に関わる政策提言について

令和5年度・6年度の任期2年の所管事務調査のテーマに「人口減少、少子高齢化、社会経済情勢が大きく変化する時代にあっても、住み続けたい」「住んでよかった」と思える飯田にしていくためには」を掲げ、管外視察や議会報告・意見交換会等、さまざまな議会活動を通じて、調査活動を行ってまいりました。

地域づくりにおいて特に課題として顕在化した「住民自治」「消防団・赤十字奉仕団」に関して、さまざまな皆さんからの意見を基に提言書にまとめ、市長に手交しました。提言はホームページからご覧いただけます。



社会文教委員会

2月28日、
3月11・12・13日に
委員会等を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください。

今定例会に社会文教委員会へ付託となった議案7件について、慎重に審査を行った結果、いずれも原案のとおり可決することに決定しました。

議案第17号 福祉委員条例の一部を改正する条例の制定について

【内容】地域共生社会の実現に向けて福祉委員制度を整理することで、さらなる地域福祉の推進を図るため、条例の一部を改正しようとするもの。

Q 最後の改正は、昭和52年9月であった。それ以降、介護保険事業の導入や地域自治区制度の導入等、機をとらえてこの条例を見直す機会があったと思うが、見直しや改正を行ってこなかった理由は何か。

A 介護保険の導入時は、民生委員或いは福祉委員の活動内容に変化があったので、改正のタイミングだったと思う。条例の内容が、現状にそぐわないようになってきたため令和7年度の民生委員の改選に向け、改正を行いたい。

議案第21号 飯田市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について

【内容】児童福祉法の改正に伴い、乳児等通園支援事業並びに当該事業の設備及び運営に関する基準を定めるため、新たに条例を制定しようとするもの。

Q 制度を利用する場合、国が構築したことも誰でも通園制度総合支援システムを活用し予約が可能とのことだが、システムの活用は8月からとの説明だった。4月からそれまでは、どのように対応するのか。また、システムを利用できない方は電話対応可能か。

A システムの運用開始を8月からとしたのは、本条例案の議決後、本条例の規定に基づき、事業所からの申請による認可までの期間を見込んだためである。その間は、本年度試行的事業として実施した民間園3園に試行的事業と同様の運用方法で行っていた。また、電話対応も可能である。

《予算決算委員会 社会文教分科会》
予算案件のうち、分担となった議案は10件です。主な質疑の内容をご紹介します。

議案第49号 令和7年度飯田市一般会計予算(案) 美術博物館資料調査研究・資料保管事業

Q 収蔵庫不足解消に向けた取組みを『検討を進めます』とあるが、予算執行を伴うものか。

A 予算執行を伴うものではない。収蔵庫については図書館・美術博物館・歴史研究所等、教育委員会全体に関わることであり、生涯学習・

スポーツ課を中心に検討を始めている。報告できる時期が来たら報告したい。

議案第58号 令和7年度飯田市病院事業会計予算(案)

Q ベッド使用率が上がれば、収入が増えるが、それに伴い人件費等が増えていく。その関係性はどうか。

A 入院患者数が令和元年度の水準まで戻れば、収入は当然増える。それに伴い、人件費などは一定の増加を見込むが、診療材料費や薬品費はそれ以上に増加していくと考える。純損益は黒字とならないと考える。純損益、赤字幅をなるべく少なくするように経費節減に努めていきたい。

附帯決議について

経営健全化に向けた取組の説明・質疑から、飯田市立病院の経営改善の取組の中で示された現状に対し、「分科会としてどういう認識をするか、どう受け止めるか。予算を認めるとしても、分科会として附帯意見を付さなくてよいか。」この2点について議員間自由討議を行い、附帯決議案を集約し、予算決算委員会へ報告しました。

所管事務調査に関わる政策提案について

市立病院、部活動の地域移行、学園構想、この3件について、担当部長へ提案書を手交しました。詳細は議会ホームページをご覧ください。

産業建設委員会

2月28日、
3月12・13日に
委員会等を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください。

今定例会に産業建設委員会へ付託となった議案14件について慎重に審査を行い、いずれも原案のとおり可決しました。

審査での主な質疑の内容を紹介します。

議案第33号 公の施設の指定管理者の指定について（飯田市道の駅遠山郷）

Q 新たな指定管理者の経営に対して、市としてどういった関与や指導がなされるか。

A 指定管理者から毎年度提出される事業報告、収支報告から経営状況を把握するとともに、年数回の懇談の場においても経営状況を把握し、必要に応じて指導・助言する。

Q 非公募とした理由は。

A 令和2年度に地元で設置した検証委員会及び令和3年度の「道の駅遠山郷あり方検討会議」の議論が重ねられ、令和4年度に地元の個人や団体からの出資を得て経営体が設立された。これまでの経緯、経営計画及び収支計画を精査した結果、当該経営体の管理運営に期待できると判断し、指定管理候補者の選定を非公募とした。

Q 指定管理者選定委員会では、新たな指定管理者の収支計画書等について議論されたか。

A 指定管理者選定委員会では、市が直接経営した場合の経費の試算について、指定

管理料の上限額の妥当性を確認している。指定管理候補者の収支計画書についても、同会議でその妥当性を審査している。

Q 秋にオープンする予定とあるが、開業時期が閑散期に入ってしまう可能性はないか。

A 具体的なオープン日を決めていないが、宣伝や営業活動などの事前準備に取り組み、来訪者が多い紅葉シーズンを逃すことのないようにしたい。

議案第36号 工事請負契約の一部変更について（過年発生土木施設補助災害復旧事業橋りょう架設工事）

【内容】 市道1ー5南信濃5号線中橋の護岸復旧工の面積等を減工することに伴う事業費の変更をしようとするもの。

Q 復旧工事による現状復旧のため、工事範囲を減じ、現状復旧のみに留めると読み取れるが安全性はどうか。

A 仮設工事個所の範囲のみを施工するよう工事範囲を減じることについては、長野県と確認しており安全性に問題ない。

《予算決算委員会 産業建設分科会》

予算案件のうち、分担となった議案9件は、いずれの議案も閉会日に原案のとおり可決することに決定しました。

議案第49号 令和7年度飯田市一般会計予算(案)

■林道整備事業について

Q 事業費が対前年比で倍増となった理由は何か。

A 上郷野底山財産区の認証材をリニア駅周辺整備の大屋根に使用するため、木材の搬出に利用する林道開設事業費及び橋りょうの塗料に含まれるPCBの除去事業費が増額となった。

■事業継続支援事業について

Q 新規事業の貨物運送事業者支援交付金の交付対象者は。

A 一般貨物自動車運送事業及び貨物軽自動車運送事業を営む、資本金3億円以下、又は従業員数300人以下の中小企業が対象。

請願審査 令和7年 請願第1号

国に対し、最低賃金法の改正と中小企業支援の拡充を求める意見書を提出願いたい。

請願者：飯田下伊那地区労働組合連合会

議長 伊壺一輝 氏

審査では、参考人から意見陳述として願意趣旨等を聴いた後、委員から請願に対して、地方と大都市の労働格差を広げないためにも「採択」、地域間格差は理解できるが、賃金引き上げは、企業体力の課題の解決を先行する必要がある。国の審議会が労使交渉の場として公平性を担保しており、「不採択」等のそれぞれの立場から発言がありました。

採決の結果、「不採択」と決しました。

所管事務調査に関わる政策提案について

2年間の所管事務調査では、「地域内経済の循環」をテーマの一つとして、担当部長長へ提案書を手交しました。詳細は議会ホームページをご覧ください。

予算決算委員会

予算決算委員会
及び分科会における
予算議案の審査の
様子は、YouTubeで
動画配信しています。



3月5日の本会議で、補正予算にかかる予算議案7件及び令和7年度飯田市一般会計予算(案)をはじめとした令和7年度当初予算案12件が予算決算委員会に付託された後、予算決算委員会前期全体会で総務・社会文教・産業建設の各分科会へ分担し、3月10日から13日にかけて審査を行いました。

令和7年度飯田市一般会計予算(案)の審査にあたっては、審査の前段で「いいだ未来デザイン2028『後期計画』に係る『令和6年度市議会による行政評価からの提言書』等への対応状況について、執行機関側から説明を受け、審査しました。

3月19日に開催した予算決算委員会後期全体会において、令和7年度一般会計予算(案)に対して、「減額修正を行った上で再提出することを求める動議」の提出がありました。起立による採決の結果、原案のとおり可決しました。

また、社会文教分科会座長から議案第58号「令和7年度飯田市病院事業会計予算(案)」の分科会審査において、附帯決議の動議に至ったこと、及び附帯決議(案)の報告があり、附帯決議を付すことを可決しました。

令和6年度後期 政務調査研究報告会

市議会の各会派では、政策の立案、提言に生かし、市民益につなげていくことを目的に政務調査を実施しています。令和6年10月から令和7年3月までに実施した各会派の調査研究の項目は以下のとおりです。また、令和7年3月19日には、令和6年度後期の政務調査研究報告会を市役所で行いました。

■ 新政いいだ

- 「電力データとAIによるアウトリーチ型フレイル予防事業」について(三重県東員町)
- 「ビッグデータを活用した自治体データベースの作成と政策立案への活用」について(岐阜県関市)

■ 会派きぼう

- 「地域資源を活用した観光推進」について(愛媛県今治市 一般社団法人しまなみジャパン)
- 「みんなで歩いて暮らせるまちづくり(街路整備)」について(愛媛県松山市)

■ 会派みらい

- 「多治見市健全な財政に関する条例」について(岐阜県多治見市)
- 「川西市財政健全運営」について(兵庫県川西市)
- 「京都食肉市場株式会社(第2市場)及び京都市中央卸売市場第1市場」について(京都府京都市)

■ 公明党

- 「大阪市・大阪梅田駅前再開発・うめきたプロジェクト」について(大阪府大阪市)
- 「豊中市・子育て支援とヤングケアラー支援強化の取り組み」について(大阪府豊中市)
- 「労働者共同組合法を活用した地域活性化の取り組み」について(兵庫県尼崎市 労働者協同組合 はんしんワーカーズコープ)

■ 日本共産党

- 「住みよさランキング埼玉県1位、住みたくなる10のワケの取り組み」について(埼玉県東松山市)
- 「子ども・子育て支援複合施設「AGECOCO」について(埼玉県上尾市)

詳細は飯田市議会公式ウェブサイトをご覧ください



リニア推進 特別委員会

3月14日に
委員会を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください。

「2025年度版

「リニア推進ロードマップ」について

リニア本線及び関連事業の進ちよく状況や、事業予定を示す資料として活用する「リニア推進ロードマップ」の、リニア本線工事、リニア駅前広場整備、リニア関連道路事業の3つの分野における令和7年度の計画について報告がありました。

Q リニア開業が10年以上延伸され、本線工事や駅区間の工事が行われている状況で、駅前広場は2028年に一部供用開始を予定しているが、どのような状態を一部供用開始と考えているか。また、広場のすぐ隣で工事が行われている状況で、広場に人が集い、楽しみ、賑わいがあるという光景は想像しづらいが、どのようにイメージすればいいか。

A 一部供用開始は、駅前広場を整備したただけではなく、駅前広場が活用され、賑わいももたらされる状態になることを考えている。本線工事等によって制約される部分はあるが、駅前広場を活用することでリニア開業の機運醸成を図るとともに、どのように賑わいを作っていくことができるかは、飯田・リ

ニア駅前広場プラットフォームで検討し、イメージを示していきたい。

Q これまでの計画では、魅力発信施設のほとんどは駅南側の広場に計画されていたが、本線工事の延伸によって駅北側と南側の行き来ができない状況になる中で、計画は変わってくるか。

A 魅力発信施設を具体的にどこに

計画するかは、今後、飯田・リニア駅前広場プラットフォームの中で検討し、決定していくことになるが、現時点での想定としては、駅南側のリニア駅前線沿いのコミュニティ広場を活用し、賑わいを創出していきたいと考えている。



リニア駅前広場のイメージ

Q マスコミでの報道等もあり、リニア事業の影響による地盤沈下に対する関心が非常に高いが、地盤沈下や濁水のモニタリングはJR東海の対応となるか。

A リニア本線等の工事による地下水への影響は、JR東海がモニタリング調査をしており、毎年6月に市に調査結果を報告いただいている。また、万が一、地域住民に影響が及ぶ事象が発生した場合には、速やかに飯田市に連絡することをJR東海と確認している。

令和6年度飯伊市町村議会議員研修会

「災害ケースマネジメントのポイント」

近年各地で大規模な災害が発生しています。一人ひとりの被災者が抱える困難は重層的かつ多様で、その状況はそれぞれ異なっていますが、基本的な被災者支援の仕組みは「罹災証明書」の有無・内容によって規律され、画一的な支援が行われているのが実情です。被災者支援には、制度の隙間で救済されない被災者をいかに少なくするかが求められています。

こうした状況の中、飯伊市町村議会議員研修会（飯田市議会主催）では、2月5日に日本弁護士連合会災害復興支援委員会前委員長で、弁護士津久井進先生を講師として、「災害ケースマネジメントのポイント」と題し、講演していただきました。

研修会には、飯田下伊那14市町村の議員のほか、伊那市議会議員の参加があり、約170人が聴講しました。講演後の質疑では、予定時間を超えて質疑が重ねられるなど、被災者支援に関する理解を深めました。



代表質問 8ページ

委員会代表質問

各常任委員会の代表者が所管事務について質問します。

今回は、総務委員会が質問を行いました。

なお、社会文教委員会及び産業建設委員会は、令和6年飯田市議会第4回定例会にて、委員会代表質問を実施済みです。(いいだ市議会だより第240号)

一般質問 8～11ページ

市政全般にわたり、市長をはじめとする執行機関側に、事業の執行状況、将来的な方針などを質し、説明を求めるものです。第1回定例会では、17人の議員が質問しました。

ズバリ！ 市政を問う

第1回定例会の代表質問と一般質問の概要を紹介します。

一般質問はこちらから



- ▶ 質問順に掲載
- ▶ 末尾の■は、他の質問項目
- ▶ 質問の様子は、Youtubeで動画配信しています



持続可能な住民自治について



委員会代表質問 総務委員会

清水 優一郎 議員

Q より良い地域コミュニティづくりの必要性和、地域作業へのパワーアップ地域交付金活用の考えは。

A 組合の加入・未加入にかかわらず、住民間のつながりづくりが必要であり、住民主体のまちづくりの在り方を考える必要があると認識している。パワーアップ地域交付金を財源に、有償ボランティアで草刈り作業等を行っている地区もある。情報を共有しながら、横展開を進めたい。

Q 消防団員確保のための定年年齢の適正化と、団員の活動に対するインセンティブ拡充の考えは。

A 消防団は無くしてはならない存在で、地域と消防団は互いに支え合うべき関係にあると考える。団員確保が困難となっている今、定年年齢の適正化は早急な検討を要すると捉えており、活動意欲の向上や家族の理解につながるという観点から、インセンティブの拡充についても検討を進めたい。

■ 飯田市赤十字奉仕団に関する課題認識と方向性について

基礎学力の未定着な 児童・生徒への対応について



古川 仁 議員 (日本共産党)

Q 不登校となる要因に、基礎学力の未定着があると考えますが、どう寄り添い支援するか。

A 基礎学力の定着という点では、日々の学習において児童・生徒への分かりやすい授業づくりに引き続き取り組む。また、全国学力学習状況調査等の結果を分析して、一人一人の状況を把握し、指導に活用できるようにしている。授業に遅れがちな児童・生徒には、個別対応による支援を基本とし、個々の状況に応じて、本人・家庭と相談しながら支援を進めている。

飯田市の大規模事業の計画は



小平 彰 議員 (新政いいだ)

Q リニア開業予定が2034年以降となったが、駅周辺整備事業のスケジュールをどのように考えるか。

A 完成時期が見通せない状況となったが、住宅移転が進んだ用地に早く賑やかさを取り戻してほしいという地域の強い意向や、国の交付金を活用して用地取得を進めてきた経過等から、施工可能な範囲を第1期整備とし、令和10年度の一部供用開始を目指している。本線工事の影響を受ける第2期整備は、リニア開業時期が示された時点で詳細を決める。

地域とともにつくる 飯田学園構想について

佐々木 博子 議員 (会派みらい)



A 飯田学園構想で目指すのは、子どもたちが通いたい、保護者も通わせたいと思える魅力ある学校づくりと、子どもたちが生涯にわたり主体的に、他者と協働して生き抜いていく力の基礎をしっかりと育むこと。生き生きとワクワクしながら主体的に学習に取り組むことが、子どもたちの未来を作り、この学習が地域を舞台に展開されることで、地域の未来にもつながっていくと考える。

Q 飯田学園構想という手段によって、何を実現しようとしているか。

子どもたちの回帰率向上に向けた取り組みについて

岡田 倫英 議員 (会派きぼう)



A 子どもの頃から地域に関わる活動を通じて、地域に誇りと愛着を持てる人材を育み、地域への回帰率を高めることが、地域人口の安定化をはじめ、地域づくりの将来において大事だと認識している。これまでも地域と子どもが関わり、子どもの居場所をつくる取り組みは行われてきたが、自発的な活動が進むよう市も支援していく。

Q 地域と子どもの積極的な関わりを田園回帰1%戦略の準備期間だと位置づけ、組み立ててはどうか。

飯田市としてアリーナの検討状況 と今後の見通しは

長谷部 春生 議員 (会派きぼう)



A 体育館の老朽化は課題と認識しているが、照明のLED化やトイレの洋式化等、快適に利用いただけるよう改修工事を実施している。国民スポーツ大会が開ける規模の大型アリーナがないことについて課題認識は持っているが、すぐに対応できる財政状況にない。広域連合での議論を再開して、今後の方向性を決めていきたい。

Q スポーツ施設、特に体育館の整備状況と今後のアリーナ整備への見通しは。

ワーク・ライフ・バランス の実現に向けて

福澤 克憲 議員 (会派きぼう)



A 働きやすい職場環境づくりは、職場の活性化や人材確保につながるため、市も更なる支援をしていきたい。令和7年度からは、パパママ育休実践企業に対する支援を拡大する。また、従業員の奨学金返還に係る支援制度の創設を検討中であり、当該制度の実施要綱の作成に当たっては、「社員子育て応援宣言」への登録を条件に含めることも検討していきたい。

Q より身近に取り組める県の認証制度「社員子育て応援宣言」と連携した、市独自の更なる支援の考えは。

飯田市における 農福連携について

市 瀬 芳 明 議員 (日本共産党)



A 南信州地域自立支援協議会等を通じて農福連携の取り組み事例を共有し、地域として取り組みが活性化するように支援していきたい。農業分野では労働力不足が深刻化しており、障がいのある人も貴重な働き手として活躍できる環境を作ることが大切と考える。地域の担い手が集まる会議等で意見を聞き、安心して雇用ができるよう関係部局や支援団体と連携して協議を行っていく。

Q 市は今後の農福連携の展開をどのように考えているか。

環境文化都市を加速させる ために必要な視点は

宮 脇 邦 彦 議員 (公明党)



A 資源消費と廃棄物発生量の抑制の地道な啓発が、サーキュラーエコノミーの理解への第一歩と認識する。大量生産、大量消費、大量廃棄からの脱却というサーキュラーエコノミーの考えは、グリーンリカバリーを掲げる市政の目指すところと同じ方向性であり、これまでの取り組みを進化させ、環境文化都市の実現へしっかりと取り組まなければならない。

Q サーキュラーエコノミー(循環経済)への転換を環境と経済の成長の好循環につながるチャンスと捉えては。

女性の公民館主事が 増えている現状は

関島百合 議員 (会派みらい)



A 公民館主事に複数の女性職員が配置されるようになったのは平成24年度からで、以後増加している。職務経験の機会均等の意味合いからも、性別を限定した人事配置はしておらず、職員の適性を見て配置している。公民館主事の業務も、性別で役割が変わるものではない。各職員の能力を生かし、地域の皆さんとの関わりの中で事業を進め、経験を積んでいくことを期待している。

Q 公民館主事21人中7人が女性となった。期待するものは何か。

地域課題に対応するための 事業体の立ち上げについて

永井一英 議員 (公明党)



A 労働者協同組合という、小さな単位で、自ら出資して、構成メンバーが同じ立場で話し合いながら運営するスタイルは、地域のこれまでの地域活動との親和性が高く、地域自治の振興にとって有益と考える。シニア世代をはじめとする多様な市民が参画して、多様な働き方を実現しながら、地域の課題に取り組むことができると認識している。

Q 労働者協同組合(ワーカーズコープ)は、地域活性化の可能性を秘めた仕組みと考えるがどうか。

地域版ふるさと納税 「飯田市20地区応援隊」について

木下徳康 議員 (新政いいだ)



A 寄附に基づく地区への交付金は、地区の集会所の整備に活用いただくことは可能。議員からふるさと納税の寄附金を神社仏閣の補修に充てている他自治体の例を示されたが、税制上適切な使途とは思わない。市会計を経由する交付金である以上、神社仏閣は対象に含むべきでないと考ええる。

Q 地区の活性化が目的ならば、寄附金の使途を地区の集会所や神社の修繕、更新にも拡大してはどうか。

■通報アプリについて ■「いいだ未来デザイン2028」について

観光による地域振興について

西森六三 議員 (会派きぼう)



A 天龍峡観光協会や遠山郷観光協会が、地域資源を発掘し、磨き、商品としての活用へ向けた地域の合意形成を図る取り組みを進める中で、DMOである(株)南信州観光公社は、その専門的な知見を生かして各観光協会の取組を支援している。市は各観光協会の事務所所在地に職員を配属しており、(株)南信州観光公社と各観光協会の連携を支え、つなぐ役割を担っている。

Q DMO(日本版観光地域づくり法人)と各観光協会と行政の役割と連携は。

市民が誇りを持てる 「環境文化都市」の実現に向けて

山崎昌伸 議員 (新政いいだ)



A 「環境」が今ほどクローズアップされていなかった四半世紀以上前の先人の取り組みが今につながっている。これからの飯田市の目指す方向として、世界中から「環境のまち」として認知され、あるいは、世界に対して市民が「環境のまち」だと語れる、そういうシックプライドを持つまちにしていきたい。

Q 環境分野でのシックプライドの醸成と合わせ、目指す都市像「環境文化都市」実現への市長の決意は。

■安心、安全のまちづくりについて

リニア駅前広場活用の 考え方とこれからについて

小林真一 議員 (公明党)



A リニア開業時には、この地域の多岐にわたる固有の特徴や魅力を発信する場として、リニア駅前広場の活用を見込んでいます。一部供用時点の駅前広場の利用者は地域の方々が主となるが、南信州の魅力を知る拠点として、現地に赴くきっかけを作る視点も重要と考える。今後の「飯田・リニア駅前広場プラットフォーム」で議論を進めていきたい。

Q 道の駅との考え方から、モノやコトなど、その場で完結させない仕組みの構築が必要と考えるがどうか。



これからの学校の在り方について 市長の思いは

原 和 世 議員 (会派みらい)

Q 学級や学校の適正規模と配置などの教育環境をどうするか、いずれ市長の決断が求められるかどうか。

A これからの学校の在り方については、現在、教育委員会が議論を進めているところ。最終的に市長としての決断が求められることになると思いますが承知しているが、今はその前段階として、こどもを真ん中に据えて、その教育環境、学校規模や配置について、地域住民と丁寧な議論を進めている段階にある。

■財政健全化と持続可能性について



道の駅遠山郷について

清 水 勇 議員 (会派きぼう)

Q 温泉施設の開業時期は。また道の駅に対する市の取り組みと、考え方は。

A 追加工事等も生じているが、建物は7月末の完成を目指している。開業時期はまだ具体的に示せる状況にないが、紅葉シーズンに間に合うように開業したいと考えている。開業後は指定管理者による運営を予定しているが、道の駅が有効に活用され、安定した経営となるよう、市も関与しながら必要な支援を行っていく。

■飯田市の農振除外について

モデル」(以下、「評価モデル」)に取り組みました。

【評価モデルの取組を通して】
評価モデルの取組みから、当市議会が進むべき方向性を市民の皆さんにわかりやすく伝えるための「スローガン」や、議会に期待される役割(ミッション)、議会の理想的な姿(ビジョン)を全議員で検討し共有するとともに、評価モデルにおける「成熟度評価」から、28項目の「取組むべき課題」を抽出しました。

この「取組むべき課題」は、「議会改革・運営ビジョン」にかわる新たなビジョン『新・ビジョン』「議会活動目標2028』として現在策定中です。

「飯田」を冠した リニア中央新幹線の駅名の実現を

井 坪 隆 議員 (会派みらい)



Q リニア中央新幹線の駅名には「飯田」を冠することを指すべきと考えるがどうか。

A 「飯田」の名称を入れた駅名を目指す必要があるという考えには強く共感する。現在の仮称は、いずれも単に駅の存する都道府県名を冠したものであり、現時点においては冷静に対応すべきと考えるが、駅名を決定する立場のJR東海に対し、時期をきちんと捉えて主張をしてみたい。

■中心拠点(都市重心)のまちづくり・都市計画について

議会改革の取組について

【経緯】

飯田市議会は、飯田市自治基本条例に謳われている「市議会の役割」を実現するために、平成25年に「議会改革・運営ビジョン」を策定し、毎年点検作業を行うことで、改革の実現を図ってきました。

しかしながら、このビジョンにおいては、成果があった一方で、常態化ができていない取組事項もあるなど、必ずしも住民福祉の向上につながっているとは言い難い状況にあったことから、令和3年度から4年度にかけて、議会の自己診断として「地方議会成熟度評価

【議会の質の向上、議員力の向上を目指して】

新・ビジョンを策定しつつ28項目に及ぶさまざまな課題に対して、解決に向けた取り組みを進めています。

議会日程の見直しをはじめ、委員会活動の質的向上を目指し「議案審査における論点抽出の方法」「議員間相互の自由討議」「所管事務調査ガイドライン」の見直しを行いました。

また、議員の質的向上を目指し、当市議会が作成した冊子「たかが一般質問、されど一般質問」を活用した一般質問の学び直しや、議会選出の監査委員等を講師に、財政の基本について全議員で研修しました。

「市民と共にある議会」として、市民の皆さんの負託に応えられるように今後も不断の改革を行ってまいります。

飯田市議会スローガンのロゴデザインを作成しました!!

『 **くらし豊かな** あす **いいだの未来** を **市民** とともに 』
 ～ 市民のしあわせに貢献する議会 ～

飯田市議会では、地方議会成熟度評価モデルについて、議会の自己診断として全議員で取り組みました。

そのなかで、飯田市議会の進むべき方向性を市民の皆さんに分かりやすく伝えられるように、全議員の確認を経て生み出した概念が、飯田市議会スローガンです。

今後、議会に期待される役割（ミッション）や、議会が実現すべき理想的な姿（ビジョン）とともに議会内外へ周知を図っていくためのツールとしてロゴマークを作成しました。

横長は、今号の議会だよりから掲載し、丸形は、用紙の形状に合わせて適宜活用して参ります。



～ 市民のしあわせに貢献する議会 ～

議会の動き(予定)

■ 第1回臨時会

5月12日(月)、13日(火)

■ 第2回定例会

6月5日(木)～6月27日(金)

◇ 一般質問(傍聴可能)

6月12日(木)、13日(金)

◇ 委員会日程(傍聴可能)

| | |
|--------------|----------|
| 予算決算委員会前期全体会 | 6月16日(月) |
| 総務委員会 | 6月18日(水) |
| 社会文教委員会 | 6月19日(木) |
| 産業建設委員会 | 6月20日(金) |
| 特別委員会 | 6月23日(月) |
| 予算決算委員会後期全体会 | 6月26日(木) |

■ 議会への請願・陳情は、議会事務局へ

5月20日(火)午後5時までにご提出ください。

議会傍聴に際してのお願い

議場や委員会室に入る場合は、帽子、コート、マフラーの着用、傘の類の携帯はご遠慮ください。(病気その他の理由により会議への出席に必要と認められる物であって議長にあらかじめ届け出たものは例外となりますので議会事務局職員にお申し出ください。)

広報広聴委員会

委員長/岡田 倫 英 副委員長/山崎 昌 伸
 委員/小平 彰 橋爪 重人 西森 六 三
 宮脇 邦彦 関島 百合 市瀬 芳 明

表紙紹介

がんばっとるに!! 川路

川路まちづくり委員会では、昨年「若い世帯移住促進委員会」を立ち上げて、リーフレットの作成、インスタグラムの発信を始めました。「川路っていいとこだに」と題して、川路を知ってもらおうと各種イベント等があるごとに写真を投稿しています。川路祇園祭、川路農園の活動、収穫祭、ハロウィン、天竜川アレチウリ駆除作業、二十歳の集い等々。

発信を始めたきっかけは、移住を検討している方々に川路の良いところを知ってもらい、川路への移住に繋がればと考え、始めました。また「空き家・宅地開発委員会」は、川路地区へ移住を検討されている方々に空き家、宅地情報提供をしようと地区で空き家調査を行いました。



川路まちづくり委員会の公式Instagramです
 Instagram@kawaji272001
川路っていいとこだに